



荒川区西日暮里2-55-1
国鉄労組東京地方本部
発行責任者 鎌田博一
編集責任者 常盤達雄

No.1781

2015年

4月5日

全分会長会議開催 組織拡大・春闘勝利へ全力

東京地方本部は三月七日に水道橋の全水道会館において、全分会長会議を開催した。春闘を前に、大幅賃上げを勝ち取るため、そして、新入社員の入社を目前に控え、組織拡大を勝ち取るために、地本管内全職場・全機関の意思統一を目的に開催したもの。

主催者あいさつで鎌田委員長は、「雇用と個人消費の向上が経済活性化に欠かせない。その為にも大幅賃上げ、非正規の雇用安定が必要。共闘運動を再生し地域春闘の強化を。組織強化・拡大は、労働条件改善、職場要求実現に欠かせない。先進的な取り組みに学び、一層の組織拡大を。安倍反動内閣は暴

国労加入 歓迎会 横浜電力技セ

神奈川県地区本部・横浜電力区分会では、三月一日に国労加入した斎藤さんの加入歓迎会を、三月六日に横浜で開催した。来賓に東日本本部・宮崎副委員長、東京地本・小澤組織部長、神奈川県地区本部・服部書記長、長瀬組織部長もかけつけ、盛大に行われた。分会一人ひとりから歓迎の言葉がかけられ、斎藤さんからも、「エルダーになっても国労で頑張る」などの決意を語られた。最後に全体で更なる拡大を誓い合って、歓迎会は終了した。



走政治を繰り返し、派遣法改悪、労働時間規制の撤廃を狙っている。安心して働ける社会を取り戻そう」などのあいさつを行った。

続いて国労本部から菊池書記長が春闘情勢と脱原発の取り組みについて「拡大中央委員会において、国労統一要求として一五〇〇円を決定した。会社間格差の是正や、五五歳以上の労働条件改善、非正規社員の正社員化など様々な要求を行っている」「フクシマでは今も十二万人が県外に避難している。避難区域の解除・縮小が少しずつ行われているが、二〇mSv/年という基準が使われている。この基準値はIAEA(国際原子力機関)などが、緊急時には

この数字まではやむをえない、として出した数字だが、緊急時がいつまで続くのか」などの提起と報告がされた。続いて国労本部・橋本青年部長からは「国労運動や青年部運動を続けていくには、人数が必要。交流会などで青年部が顔を合わせれば、明日から頑張ろうと思える。しかし集まる場を作るのが難しくなっている。分会の協力をお願いしたい。拡大対象者が一〇人いれば、一〇のやり方がある。職場での交流の中で、その方法の引き出しを作してほしい。柔軟性がほしい。タイミングを逃さない事が重要」など、青年部の課題と、組織拡大への訴えがされた。

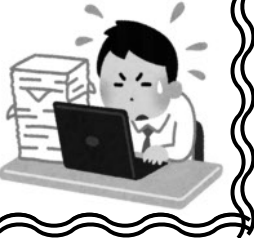


続いて、取り組みの報告として、上野支

部・東調査部長(上野駅分会)から「上野駅で、二人の青年の加入があった。信頼できる先輩が身近にいた。分会役員が『取るぞ!』と気合を入れていた。『何があっても守るから、任せてくれ』と話をし、加入を決意してくれた」、大宮地区本部・山崎組織部長からは「大宮車両所では、国労の取り組みへの共感から、若い人が、年配の人に『一緒に国労に加入しましょう』と話し、複数の加入が実現。分会では、できない事はできないが、できる事はやろう、と取り組み、仕事の中心に座り、職場で信頼を得ている」などの報告があった。また、全体討論では、黒磯機関区の因泥さんから、JR貨物の賃金実態や労働実態について、甲府運輸区の井上さんからは、深夜時間帯の中央線特急自由席の混雑に対応するための、車掌増員の取り組みの報告がされた。

最後に松川書記長から「拡大に向け、相手が変わるのを待つのではなく、一緒に乗り越えよう。勇気が必要なのは、加入する人ではなく、『入れよ』と声をかける我々。最後は国労で、と国労に復帰する人が多数いる。ここに自信と確信を持つとう。ここにこそ国労が存在している意味がある。全分会が意思統一して様々な取り組みに全力を上げよう」などのまとめがあり、中嶋青年部長の団結がんばろうで、大幅賃上げと組織拡大を全体で誓い合った。

GS交流会開催 頑張れば正社員になれる 会社になってほしい



東京地方本部は三月二三日に池袋において、グリーンスタッフ(以下GS)交流会を開催した。主催者あいさつで、松川書記長は春闘情勢や、GSを巡る情勢、東京地本の取り組みなどが話された。続いて、正社員登用試験に向けて、試験経験者である中嶋青年部長から説明を受け、運転適性検査で行われるクレペリンや注意配分などを実際に体験してもらった。

最後にGSとの意見交換も行われ「GSで入って、一年経たずに辞めてしまう方が多数いる」「頑張れば正社員になれる会社になってほしい」「就職活動をしているGSの先輩を見てみると不安になる」「どんどんJESSに委託が進み、本体の駅は大変なことばかり」「JESS委託に伴い、GSの転勤も発生し不安」「仕事の大変さや人間関係などを見てみると、そこまでして正社員になりたくないと」などの意見が出され、GSの

原発のない福島を!

「原発のない福島を!県民大集会」が三月一日、福島市あづま総合体育館を会場に、県内外から六五〇〇人が参加し開催された。

角田実行委員長のあいさつ、落合恵子さんの連帯のあいさつに続き、JA新ふくしまの菅野さんは「農業の福島は地に落ちたという状況から、厳しい中でも農家はいま奮闘している。美味しい、安全な農産物を提供していきたい」、JF相馬双葉漁港の遠藤さんは「汚染水の流出で、漁業者は振り回され、戸惑っている。原発がある限り不安は消えない。安全な魚を早く出荷したい」と厳しい漁業者の現状を訴えた。

第一七代高校生平和大使の本田さんは「私たちは、ひとたび原発事故が起これば、取り返しがつかなくなることを経験してきた。私は、生命を何よりも大事にし、と教えられた。だから原発に反対する」と、地元高校生の立場から原発を力強く訴えた。



貨物分会交流会

賃金水準は最低・春闘で頑張ろう



東京地方本部は三月八日に地本会議室において、貨物分会交流会を開催した。主催者あいさつで松川書記長は安倍内閣の暴走や、それを阻止するためにも四月の統一自治体選挙勝利に全力を挙げる必要があること、春闘情勢や組織拡大について、報告や提起を行った。続く学習会では、全国貨物協議会・笠井事務長からJR貨物をめぐる春闘情勢について講演がされ「JR貨物は黒字化が至上命題で、削減された賃金分が決算で黒字となった。社員数が半減して、人件費率は二三％。賃金水準は最低。明らかに構造矛盾。社員は線路使用料の為に働いているようなもの。春闘で闘うしかない。その為にも、組織拡大を一大闘争として闘うべき」などの話がされた。その後、地方本部・松川書記長と東京貨物協議会・中村事務長から取り組みの提起がされ、続いて全体交流が行われた。



貨物分会交流会

定例職場オルグ実施

神奈川地区本部を訪問

東京地方本部は、三月二四日に定例の職場オルグを実施した。

今回は、神奈川地区本部へ足を運び、午前中に行われた、神奈川地区本部JESS(JR東日本ステーションサービス)連絡会に、夜は組合会議に参加してきた。

JESS連絡会には、地区本部内のJESS委託駅の組合員約二〇名が集まり、委託後のさまざまな問題の突き合わせなどが行われた。

連絡会・坂下代表のあいさつのもと、地区本部服部書記長から、組織対策、春闘情勢な

どの報告がされ、地方本部からは常盤執行委員が地本の取り組みなどの報告を行った。

その後各職場から駅遠隔操作システムを中心に報告がされ「深夜帯の遠隔制御駅は、一人では対応しきれない状況。複数の駅から同時にインターホンが鳴らされる」「遠隔中に払い戻し証明が欲しいと言われ、休憩中に出ざるを得ない」「遠隔開始と同時に窓口も廃止され、駅長が市役所に『不便はかけない』と説明したが、市から直接『これが不便でなくてなんだ』と言われた」「一人勤務にされ、券売機締切中で現金出しつ

連載企画 分会紹介

48

川崎車両所

分会

国労川崎車両所分会は、平成二年に横浜から移転してきた旧川崎貨車区分会と、平成九年に新小岩から移転してきた旧川崎車両所分会が合併してきた分会です。本所と派出に分かれており、運転と工作の職種の違いがあります。

国鉄採用の組合員の大量退職期に入り組合員数が減少し、平均年齢が五六歳と高齢化が進み、現在一三名の組合員です。平成一三年に貨車検査業務が神奈川臨海鉄道に委託され、五名が意向しています。

貨物職場の委託拡大により、貨物本体と委託会社に分かれているため、分会の組合員間の交流もできづらくされています。本体に戻りたくても、「戻れない状況」をつくり出し、委託会社もJRと協議しない、放置状態が続いています。

JR貨物会社は、一六年連続のペア・ゼロで、他のJR会社との格差が拡大し、組合員・家族は苦しい生活に怒りがこみ上げてきます。分会では、現場長への申し入れや、春闘



今後も地方本部は、各職場や、各級機関オルグを実施し、組合員と交流を深めて運動の前進につなげていくので、今後も協力をお願いする。



第86回 日比谷メーデー

5/1(金)日比谷野音

9:50 開会
11:00 デモ行進出発

「がん」の保障 《新生きるためのがん保険Days》

保険期間：終身(抗がん剤治療特約は10年更新) 契約年齢：0歳～満85歳

Aプラン 入院給付金日額10,000円の場合

初めて診断確定されたとき	がんの場合	一時金として 100万円
診断給付金	上皮内新生物の場合	一時金として 10万円
入院したとき	入院給付金	1日につき 10,000円
通院したとき	通院給付金	1日につき 10,000円
手術したとき	手術治療給付金	1回につき 20万円
放射線治療を受けたとき	放射線治療給付金	1回につき 20万円
抗がん剤治療を受けたとき (上皮内新生物は対象外)	抗がん剤治療給付金*	治療を受けた月ごと 10万円(給付倍率2倍) 乳がん・前立腺がんのホルモン療法のと 治療を受けた月ごと 5万円(給付倍率1倍) <small>(更新後の保険期間を含め通算600万円まで)</small>

* Aプランの場合、抗がん剤治療給付金はご希望により取り外すことができます。

がん専門相談サービス プレミアサポート 訪問面談サービスと専門医紹介(このサービスは、株式会社法研が提供するサービスです)

◎詳しくは、「契約概要」等をご覧ください。

「生きる」を創る。Aflac

◆月払保険料(集団取扱) (2014年10月10日現在)

新生きるためのがん保険Days Aプラン

入院給付金日額10,000円 定額タイプ 解約払戻金なしタイプ

保険料払込期間：終身(抗がん剤治療特約は10年更新)

	35歳	45歳	55歳	65歳
男性	3,450円	5,400円	8,920円	14,110円
女性	3,800円	5,370円	6,560円	8,050円

<抗がん剤治療特約>の更新後の保険料は更新時の年齢・保険料率によって決まります。

<募集代理店>

アベニール株式会社

〒105-0004 東京都港区新橋5-15-5 交通ビル3F

電話 03-3437-6810 ファックス 03-3437-6822

<引受保険会社>

アフラック 東京第二法人営業部

〒163-0456

東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル

当社保険に関するお問い合わせ・各種お手続き

コールセンター 0120-5555-95